

ふくい環境フェア2009

環境ふくい推進協議会は、環境を守り育てる県民運動を普及するために『ふくい環境フェア2009』を、平成21年10月16日（金）と翌17日（土）の2日間、JR福井駅周辺で開催しました。

ステージイベント



挨拶する旭副知事

ステージイベントは、福井市のアオツサで行われ、優れた環境活動の報告、小学校での自然体験（船乗り）事例の発表、環境活動に頑張った方や団体の表彰式などを行いました。

開会に当たり、まず旭信昭副知事から「福井のすばらしい環境を次の世代へ確実に引き継いでいくため、この環境フェアを契機に県民一人ひとりが率先して環境に優しいライフスタイルに変えていってほしい。」との挨拶がありました。

ステージイベントは、福井市のアオツサで行われ、優れた環境活動の報告、小学校での自然体験（船乗り）事例の発表、環境活動に頑張った方や団体の表彰式などを行いました。



挨拶する増永会長

続いて、増永矩明環境ふくい推進協議会会长は「近年、身近な場所においてかつては見られた生き物が減少するなど地球温暖化による気候変動や生態系への影響が顕著になっています。我々も将来の世代のために、企業、団体、個人の方々とともに、福井の美しい環境を守り育てる県民運動を一層広げていきたい。」と決意を表しました。

この後、午前の部では、地域の創意工夫を活かした優れた温暖化対策を競う「わがまち・LOVE・アースコンテスト」の発表と表彰、当

協議会が実施する「子ども自然体験」の船乗り体験の事例発表（越前市服間小学校）、これまで当協議会の発展にご尽力いただいた方々への「環境ふくい推進協議会功労者表彰」や県内で撮影した「きれいなまちづくり写真コンテスト」などの表彰式を行いました。



「わがまち・LOVE・アース」コンテスト



環境ふくい推進協議会功労者表彰

▼「わがまち・LOVE・アース」コンテスト

団体		活動
優 勝	みくに地区まちづくり協議会生活環境部会	エコ来店事業
	ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）	モビリティウイーク&カーフリーードーふくい
	うるしの里いきいき協議会	うるしの里いきいき協議会
	春江東部地区まちづくり協議会環境部会	朝顔でエーコ運動
	福井県民生活協同組合	みんなでエコ 1日エコライフ&エコメッセージ
	夢・創造事業旭地区委員会	家庭版ISO もったいない活動の推進

▼環境ふくい推進協議会功労者表彰 2ページ参照

▼きれいなまちづくり写真コンテスト

団体		作 品
最優秀賞	東地区自治振興会	菜の花のまち ひがし
優 秀 賞	福井市木町自治会	クリーンアップ&フラワー大作戦
入 選	古田刈環境美化グループ	地域の環境は私たちが護ります
	北陸コカ・コーラボトリング㈱福井支社	なくそう不法投棄、みんなで護ろう福井の環境



午後の部では、ごみを減らすことについてのシンポジウムを行いました。参加者は、ごみを減らすための3Rの進め方などに熱心に聞き入っていました。その後のパネルディスカッションでも、活発な議論が行われました。



環境シンポジウム

①「3Rについて語ろう in 福井」基調講演

▶テーマ「一歩先に行くごみ減量のための取組み」

▶講 師 石川県立大学教授・京都市環境学習センター館長 高月 紘 氏

②パネルディスカッション

▶テーマ「今後のごみ減量のための取組みについて」

▶コーディネーター

▶パネラー 福井県民生活広報・組活グループ課長

NPO エコプランふくい理事

福井県消費者グループ連絡協議会会長

北陸コカ・コーラボトリング(株)福井支社長

環境省中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課長

高月 紘 氏

高井 健史 氏

吉川 守秋 氏

豊嶋美代子 氏

松田 元栄 氏

小野寺秀明 氏

展示体験

展示体験ゾーンは、JR福井駅の東西口広場などにおいて、4つのコーナーで様々な催しを行いました。

●エコ工作コーナー

エコ工作コーナーでは、自転車をこいで発電したり、ペットボトルを用いた風車づくり、ミネラルウォーターのペットボトル絞り体験、木製プランターカバーづくりやオリジナルマイバックづくりなどを行い、たくさんの来場者で賑わいました。



自転車発電



プランターカバーづくり



電気自動車乗車体験



7人乗りおもしろ自転車

た方は、「とても静かですね。二酸化炭素も出さないし、地球に優しいですね」と電気自動車の良さを感じていました。

●食のコーナー

食のコーナーでは、ふくいのおいしい水や牛乳の試飲、鹿肉やイノシシ肉の試食、福井県産の食品販売が行われました。とても美味しいものがかりなので、来場者の関心も高く、準備した飲食物はあつ

という間になくななりました。福井の豊かな自然に育まれた水や食べ物のおいしさを改めて実感していましただけたのではないでしょ



ふくいのおいしい水の試飲

●リサイクルコーナー



おもちゃの病院



鹿肉・イノシシ肉の試食



古本市



自然再生運動など

コーナーでは、ラジコンカーやピアノなどの修理を行いました。参加者は「直せばまだ使える物つていっぱいあるんですね。これからも大切に使いたい」と感心していました。

また、古本市では、絵本やマンガや書籍などを販売し、たくさんの来場者にリサイクルを実践していただきました。

また、太陽光発電設備や自然再生運動などのエコ活動についても紹介しました。

この他、各コーナーを巡る環境クイズラリーも開催しました。たくさんの方が全問正解され、県民の皆さんの環境への関心の高さを感じ取れました。

環境キーワード

電気自動車

私たちの生活を便利にしてくれる自動車。でも、自動車を使うとたくさんのCO₂を排出してしまいます。CO₂は地球温暖化の原因のひとつとも言われ、排出量の削減が必要となっています。

そこで登場したのが、運転時にCO₂を排出しない電気自動車です。ガソリン自動車だと1km当たり232g※のCO₂を排出しますが、電気自動車は走行中はCO₂を排出しないので、地球にやさしいエコカーと言われています。

福井県の1世帯あたりの自動車保有台数は全国でも高く、自動車は生活に欠かせないものです。そのため、福井県では、電気自動車などの次世代自動車の普及に取り組んでいます。

地球のために福井県内でもエコカーを広めていきたいですね。

※ 1ℓ当たりの走行距離を10kmと想定。

生物多様性

地球上には、数え切れないほどの生物種が、多様な生態系を形成して、地球環境と私たちの生活を支えてくれています。地球がとてもなく長い年月を経て創り出したこの多様な生き物の世界を「生物多様性」といいます。言い換えると、「生き物のにぎわい」です。

人間活動の拡大による生態系の破壊や外来種の侵入、地球温暖化等による環境の変化によって、このにぎわいが危機に瀕しています。

地域固有の歴史・環境が育んできた多様な生物、生態系が持続できるよう私たち人間の活動を調和させていく必要があります。

平成22年10月に愛知県名古屋市で「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)が開催されます。生物多様性の保全、自然との共生に向けた地域づくりをみんなで話し合うきっかけとなればいいですね。

2万人を超える来場者の方々には、楽しみながらエコライフの大切さについて考えていただき良い機会となりました。